

# MONOBE TIMES

教育目標  
○心情豊かな人  
○自ら学ぶ人  
○勤労を尊ぶ人  
○よく考えて行動する人  
○国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838  
Tel 0285-75-0008  
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monoijhsc/>  
ホームページで学校の様子を紹介しています  
ぜひご覧ください



真岡市立物部中学校  
学校だより 第7号  
令和2年度  
令和2年 11月発行

## 校長室から

### 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見

校長 1

朝夕の冷え込みが厳しさを増し、11月5日には宇都宮市で初霜が観測されるなど、冬の訪れが間近に感じられる季節となりました。10月24日(土)の桜町祭には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。「心化 ～体は遠く、心は近く～」のスローガンの下、各学級が特に力を入れて取り組んだ合唱コンクールをはじめ、個人やグループでの発表、教科等の作品展示など、多くの教育活動の成果を御覧いただくことができ大変うれしく思っております。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した桜町祭でしたが、生徒たちは例年にも増して熱心に取り組む、級友との絆を一層深めるなど、貴重な成長の機会となりました。

また、10月27日(火)には、郡市中学校駅伝競走大会が開催されました。物部中としては、久しぶりの男女アベックでの参加ということで、大いに盛り上がりました。結果は、男子9位、女子10位と惜しくも入賞はなりませんでした。最後まで諦めない物部中らしい走りができたと思います。特設駅伝部の皆さんの頑張りに、たくさんの勇気をもらいました。

さて、11月4日(水)の全校朝会では、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見について、話をしました。新型コロナウイルスの感染者数に関しては、8月上旬をピークに減少傾向が続いていましたが、ここに来て増加に転じており、決して楽観視できるような状況ではありません。自治体によっては第3波の襲来と受け止めているところもあります。真岡市においても、先日、中学生の感染が判明しました。新型コロナウイルス感染症は、どんなに注意していても感染してしまうことがあります。感染の危険は誰にでもあるのです。もし、身近な人が感染しても、絶対に差別や偏見を持って接することがないように、全校朝会で大切なことを再確認しました。

講話の中で動画を視聴してもらいましたが、その主な内容は以下のとおりです。

- ・人は、目に見えないウイルスに対して、不安や恐れを膨らませてしまう。
- ・人は、目に見えるものを自分の敵としてすり替えることで、安心しようとする。
- ・目に見えるものとは、感染症にかかってしまった人やその家族、学校、地域などである。
- ・それらを自分から遠ざけることで、自分を安心させようとする。それが、目に見えないウイルスが生んだ偏見や差別の正体である。
- ・新型コロナウイルスは、「病気」、「不安」、「差別」の三つの感染症を広げている。
  - ◆病気：新型コロナウイルス感染症のそのもの。
  - ◆不安：目に見えない敵、ウイルスに対する不安な気持ちが広がってしまうこと。また、その不安な気持ちから確証のないうわさや情報を広めてしまうこと。
  - ◆差別：不安を解消しようとして目に見える敵として、感染症を連想させる人や場所などを嫌悪したり遠ざけようとしたりすること。また、そうした気持ちや行動がみんなの中にどんどん広がってしまうこと。
- ・「病気」を引き起こすウイルス。この目に見えない敵によって、「不安」になり「差別」が生まれる。三つの感染症はつながっている。
- ・ウイルスをなくすことは難しいが、「ウイルス」の感染、「不安」という気持ちの感染、「差別や偏見」という意識の感染は、一人一人の心掛けや行動でその拡大を防ぐことができる。
- ・優しさや思いやりは、ウイルスと戦う力になる。

このように、本校では、感染症には科学的な知見や見解に基づいて正しく向き合うことが大切であり、「感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等は絶対に許さない」ということを生徒たちに指導しています。御家庭においても、生徒たちの中に差別や偏見の芽が見られたときには、御指導いただきたいと思っております。そして、物部地区全体で、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」、「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声を上げられる雰囲気が醸成されることを願っています。収束が見通せない感染症に対して、人々の優しさや思いやりが、ウイルスと戦う力になることを信じて。

※ 裏面に続きます

# 桜町祭

スローガン『心化 ～体は遠く 心は近く～』(3年1組 Tさん作)

▼コロナ禍で開催も危ぶまれた今年度の「桜町祭」。運動会同様、いくつもの制限を設けながらも生徒の思いと教職員の願いを汲んでの実施となりました。保護者の皆様には、来場者の制限(生徒1人に、保護者1人)、当日の検温、ソーシャルディスタンス、座席の指定制、換気・消毒の徹底と、様々な面での御理解・御協力をいただきました。

また、毎年、生徒たちの発表やPTA活動を楽しみにされている地域の皆様方の学校のこうした対応への温かい御理解・御協力があったことも忘れることはできません。改めて、御礼申し上げます。

こうした多くの方々のお陰で、当日は成功裏に終えることができました。ありがとうございました。

## 文化祭



全校作品除幕式



少年の主張発表



合唱コンクール



吹奏楽部発表

ありがとうございました



創作ダンス(3年生)



尊徳太鼓(有志)



グループ発表



会場全体(コロナ感染症防止対策)

## 行事アラカルト



▼第73回芳賀郡市中学校駅伝競走大会。10月27日(火)。真岡市運動公園陸上競技場で開催。記録は、男子が9位。女子は10位。男子はあと一步で入賞を逃す大健闘。そしてなにより、女子の出場は3年ぶり。夏休みからのきつい練習を仲間と乗りきって、3年ぶりに立つ「スタートライン」。小規模校でのこの実績には、感慨もひとしおでした。選手諸君! 感動をありがとう。後輩たちが、その背中を追うことを大いに期待しています。



選手代表あいさつ



薬物乱用防止教室

▼薬物乱用防止教室。11月5日(木)。講師に真岡警察署生活安全課の職員の方を迎えて実施。薬物の恐ろしさは、その被害そのものであると同時に、薬物が、いかに身近な存在であることか、いわゆる「ノリ」で使用することで、失うもの大きさについて話を聞くことができました。芸能人や有名人による薬物関連ニュースは、いたずらに中学生の興味・関心をもたせてしまうことも改めて考えさせられました。どうぞ、御家庭でも話題にいただき、お子さんが「薬物」の危険について、常に意識を忘れないようお願いしたいと思います。



講話後の「振り返り」



桜町陣屋跡にて

▼クリーンアップ物部。10月30日(金)。桜町陣屋跡、専修寺の恒例のボランティア活動。強風の中、生徒たちは班ごとに一生懸命に活



高田山専修寺にて

動。「ふるさと教育」を標榜する本校の取り組みの一環として今後も、継続していきたい学校行事です。

▼「2~4年目研修」。11月10日(火)。S先生、M先生が、授業力の向上を目的に「研修授業」を行いました。ICT機器を取り入れた授業を実施し、芳賀教育事務所・真岡市教育委員会学校



ICT機器を活用して



「特別な教科 道徳」

教育課から3名の指導主事の先生方や授業を見学した同僚職員からの指導・助言を得ました。今後も「学力向上」「学びの保証」に向け、授業改善に取り組みたいです。